

府中市生涯学習審議会（平成28年度第7回）会議録

1 日 時 平成29年3月8日（水）午後3時～5時

2 場 所 旧保健センター分館1階 元気ホール

3 出席者（敬称略）

（1）委員13名

荒金恵一委員、大谷久知委員、奥野英城委員、木内直美委員、相良恵子委員、鈴木映子委員、関口美礼委員、武野純子委員、鶴田知佳子委員、寺谷弘壬委員、中村洋子委員、新島 香委員、三宅 昭委員

※中西裕子委員、長畑 誠委員は欠席。

（2）職員2名

宮崎生涯学習スポーツ課長補佐、山崎事務職員

4 開 会

5 報告事項

（1）配布資料の確認

- ① 第5回生涯学習審議会 会議録
- ② 第6回生涯学習審議会 会議録
- ③ 第7次生涯学習審議会 答申

（2）前回会議録の確認

（会 長） 第5回の会議録について、修正があればご発言願いたい。

ご意見が無ければ、第6回会議の会議録の確認に移りたい。

（委 員） 第5回の8ページの1番下の行で、機械もしくは有人でという部分を「機械化」としたい。

（会 長） 他になければ審議事項に入りたい。

6 審議事項

（1）諮問事項

（会 長） 第7期の生涯学習審議会の答申がほぼ出来上がっているが、これに関して問題点があればその都度ご発言願いたい。「はじめに」の部分で修正はあるか。

- (委員) 表紙のタイトルについて、家庭教育のタイトルには「について」と書かれているが、社教団体のほうは「について」が無く、諮問そのものが書かれている。どちらかに統一したほうが良いと思う。
- (事務局) 諮問だと、「ついて」ではなく「あり方」でとまっているので、そこは訂正させていただく。
- (会長) それでは「について」を削除することで了承願いたい。では、「はじめに」の部分で修正はあるか。なければ3ページ以降について、ご意見があれば仰っていただきたい。
- (委員) 7ページの(3)のタイトルが「保護者同士の結び付け」となっているが、この表現で良いのか。
- (委員) 「結びつき」でも良いかもしれない。
- (委員) タイトル全体が動的な言い方をしているのではないか。
- (委員) 交流促進とかの意味も含めていると思うので、「結び付け」で良いのではないか。
- (会長) ではこのまま「結び付け」とする。
- (委員) 今の点で、「結びつけ」と「結び付け」とで漢字と平仮名が混在している。どちらかに統一してほうが良い。
- (会長) あまり漢字は使わないと思うので、全部平仮名で良いだろうか。「結び」は漢字で、「つき」「つけ」は平仮名ということに統一する。
- (委員) 6ページの6行目で、「子育てサイトふわっと」はサイトと明記されているので問題ないが、「子育てのたまたまて箱」は現状だとどのような形式なのか分かりにくい。名称の前に「冊子」とか「情報誌」という文言を入れたほうが良いと思う。
- (会長) では「冊子」という文言を括弧の前に入れることとする。
- (委員) ポイントの中で句点がついている文章とそうでない文章がある。これも統一してほうが良い。
- (委員) なしにしていいのではないか。
- (会長) では、ポイントの枠内の文章には句点は付けないということで統一したい。
- (委員) ただし、箇条書きでない部分は句点を付けたほうが良いのではないか。
- (委員) 11ページの3のポイントは文章が二つに分かれているから句点がついているが、「ただし」を「が」にして一文にすればいいのではないか。
- (会長) では、その方向で修正し、ポイントの枠内は句点を付けない表現で統一する。それでは社教団体の答申に移りたい。お気づきの点があればご

発言いただきたい。

(委員) 前は答申案の体裁が違っていたが、今回はポイント枠を入れたことにより非常に分かりやすくなったと思う。ただ、「学び返し」について括弧書きで強調しているところもあれば、11ページのように括弧がついていないところもあり、ややバラバラな感じがする。この辺りも統一するということがどうか。

(会長) 「学び返し」がまだ一般的な言葉になっていないということで括弧書きしているが、「学び返し」という表記で統一するということがどうか。

<一同了承>

(会長) 社教団体の答申について他にご意見はあるか。

(事務局) 体裁については事務局で調整させていただく。今日は最終回なので修正後の文章は正副会長にご覧頂いて提出という流れになる。

(委員) 11ページの②登録用件の緩和の部分で、「そのうち3分の2以上市内在住、在勤」と書かれているが、在学の方も市内会員に含められると思うので、在学を入れた方がいいと思う。他市は分からないが、府中市の登録用件は市内在住、在勤、在学であったはず。

(委員) 5ページの①の「地域のコミュニティー」は伸ばす表現で良いのか。

(会長) コミュニティは伸ばさない表記が一般的であると思うので本答申でも伸ばさない表記としたい。

(委員) 9ページの注の下から3行目社会教育法の定義のところでの前略は必要ですか。

(事務局) この前に条文があるため、このような表現になっている。

(委員) 三連の中黒をいれてはどうか。

(委員) 9ページの注8の所で、鍵括弧の使い方が混在している。

(会長) では、大きなくくりを一重括弧で、そのなかの強調部分を二重括弧で統一する。

(委員) 社教団体の答申のポイントの枠内の文章で違和感のあるところがある。例えば、9ページの現状と問題点の要因という所の文章が理解しづらい。登録用件の厳しさにより支援を受けられない団体が生じている、という部分はこれで良いと思う。一方、本来の活動のためではなく支援を受けることを目的とした登録も多い、これは本当にそうなのかと疑問に思う。本来の活動のためではない目的で登録しているような団体はないような気がするが、おそらく支援を受けるために団体を分割したとかいう話が出てきた流れで書かれたのではないかと想像はするが。

- (委員) 本来の目的は解釈によると思うが、例えば一つの団体のメンバーを二つに分けてその2団体で登録をして、2倍施設を利用することが実際あるようなので、それは本来の目的ではないといえる。「多い」と断定した書き方をしているのが問題ということか。
- (委員) そういう認識でこれを作ったと見られると困ってしまう。
- (委員) 「登録もある」または「見受けられる」と表現を変えてみてはどうか。10ページの登録基準の課題で、「中には新制度を利用する目的の架空登録も見受けられる」と書かれており、これが正しい表現だと思う。
- (会長) では、「登録もある」に修正する。
- (委員) 最終的な確定した答申の各委員への送付は、いつごろになるのか。
- (事務局) 本日各委員からご意見をいただいたので、これを修正した上で、3月16日に会長から教育長に答申ということでお渡しいただく予定となっている。その後、23日に教育委員会の定例会で報告し、その後各委員へ確定版を送付する。
- (委員) 11ページの「3今後の社会教育関係団体の定義」のポイント枠内の表現で、団体には活動の中に学び返しの実践や活動内容とした成果の地域還元に取り組んでもらいたい、活動の中に取り組んでもらいたいというのは、ちょっと続かないと思う。
- (委員) これは、前半の「期待する」というのは府中市に期待するという意味で、後ろの方は各団体に期待するという意味で、別のことを言っているので、「団体には」を取ってしまうとよろしくない。団体にはで読点をうって、市に期待することと団体に期待することを分けて書いてあると理解している。
- (委員) 団体に取り組んでもらいたいという意味が伝わるような表現が望ましい。
- (会長) 他に修正点はあるか。
- (委員) 質問で、12ページの最後の段落の手前の表現は「無料枠はなくすことが相当だろう」でよいのか。妥当とかでなくて、相当でよろしいか。普通に考えると、妥当とくると思う。
- (会長) では、妥当であろうに修正する。
- (委員) 3ページの「三世代同居や近隣住民同士の結びつきがあった時代は」の後、「祖父母や地域の高齢者など」となっているが、あえて高齢者を特筆しなくとも、「地域社会」や「地域住民による」というような表現で、広く捉えたほうが良いのではないか。

- (委員) 地域の住民となったら範囲が広がりすぎるのではないかと思う。
- (委員) でも実際子育てに協力しているのは近所のおばさんだったり、おじさんだったりとか地域の人たち皆なので、高齢者もそこに含まれるのではないか。
- (委員) かつては高齢者がおせっかいをしてくれる人が多かった。適当に誘導したり、怒ったりサジェスションをするような人がいたが、今その人たちがあまりやられてないというところも問題であると思う。
- (委員) 小学校などの登下校の見守りをしているのはほとんど高齢者です。見守りをする時間帯には若い方はいらっしゃらない。そうすると高齢者というのは今見守りの中心になっているような気がする。
- (委員) 現在の状況はそうなっていると思うが、今問題になっている文章は、かつてのことを指している。かつてはご近所さんというのがあって、ご近所さんのことをいっていると思う。だから地域の住民か、地域のご近所さんとかにいいのではないか。
- (会長) ではそのように、高齢者の部分を地域住民に修正する。
- (会長) もうございませんか。
- (委員) 最終校は会長と副会長がチェックされるということで良いか。
- (会長) 審議の結果であるので、修正するとしても誤字脱字程度となる。
- (委員) 社会教育関係団体の無料枠を全くなくしてしまうのは、いかがなものかと思う。ボランティアで活動している団体には無料枠を残して欲しいので、「原則無料枠はなくす」という表記にしてはどうだろうか。
- (委員) その点については、後段のただし書きで書かれているので問題ないと思う。
- (会長) それではこの辺りで、本日の会議は終了とさせていただきたい。皆さん2年間お疲れ様でした。マックスウェーバーによると、いわゆる雨乞いの儀式には目に見える機能と目に見えない機能がある。目に見える機能は雨乞いの踊りによって雨が降ること。目に見えない機能は、人々が一つの目的のためにつどい、チームを形成することであり、この目に見えない機能のほうが重要であると説いている。
- この答申が全て実現されるかどうかは分からないが、私たちは熱心に議論してきた。目に見える機能は、もちろん答申が実現されることであるが、この審議会を通して、普段関わりのない我々が集うことになったことは目に見えない機能であり、今後も生かしていただきたいと思う。
- 本当に、2年間お疲れ様でした。